

## 徳島文化芸術ホール（仮称）整備事業について

1 事業の実施手法

徳島文化芸術ホール（仮称）の早期整備にあたり、スケジュール管理や、適切なコスト管理の観点から、「設計・施工一括発注方式（設計交渉・施工タイプ）」とし、設計・施工を担う事業者決定に向けた公募型プロポーザルを実施。

2 公募型プロポーザルの状況

(1) 一次審査（提案者：設計者を想定）

【実施日】令和 3 年 7 月 16 日（金） 書面審査、審議

・基本構想を示した技術提案書を審査し、「6 者」の設計候補者を選定

(2) 二次審査への参加表明

・各設計候補者が施工業者との調整を進めた結果、「5 者」から参加表明

(3) 二次審査（提案者：設計及び施工を担う共同企業体（選定設計者を含むもの））

【実施日】令和 3 年 9 月 18 日（土） プレゼンテーション（ライブ配信）

〃 19 日（日） ヒアリング審査、審議

・施工計画・コスト管理計画を含む技術提案書を審査し、優先交渉権者を決定

<審議のポイント>

- ① 街との繋がりを重視しつつ、人を敷地内や建物に呼び込めるホールとしての計画が提案されているかどうか
- ② 「新しいホールのあり方」、「新しい公共空間」を予見させるデザインの魅力を有するかどうか
- ③ 適切な音環境・空気環境が確保された豊かな空間の実現、風や津波などの災害への対策、搬入経路の確保など、機能面・構造面での課題を踏まえた解決策やそれを裏付ける実施体制が整っているかどうか

3 公募型プロポーザルの結果

◎最優秀賞の提案者（優先交渉権者）

「熊谷・石上純也・IAO竹田・アクト環境・ピーエス三菱・野村建設  
拡大共同企業体」

○優秀賞の提案者（次点交渉権者）

「SALHAUS・安井・大林 共同企業体」

4 今後のスケジュール（予定）

令和 3 年 10 月～ 設計契約締結、基本設計、実施設計

令和 5 年 4 月～ 着工

令和 8 年 8 月 大ホールの開館

令和 9 年 3 月 小ホールの開館